


図書館から情報館へ
～電子図書館の将来像～
国立国会図書館の取り組みについて


国立国会図書館
 National Diet Library, Japan

デジタル化の原本
(明治・大正・昭和戦前期の古い本)

資料の傷み・劣化



原本閲覧 × 館外貸出 × 複写 ×

近代デジタルライブラリー
<http://kindai.ndl.go.jp>
デジタル化した図書・雑誌の提供インターネットで提供
(著作権処理済のもの)



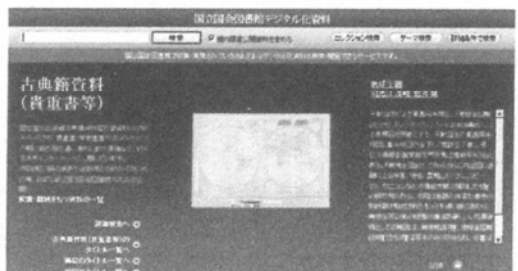
2009年著作権法改正

- 国立国会図書館では資料の保存のためのデジタル化が可能になる

これまでに200万冊以上をデジタル化

	江戸前以降	明治	大正	昭和戦前	昭和戦後	平成
古書籍	21万冊	「デジタル化資料(古書籍)」 典拠書目録データベース計1,000タイトル(約1.3万冊) デジタル化済7万冊 (55万冊収録7万冊)				
新聞書		「デジタル化資料(新聞)」267万冊 (55万冊収録2万冊)				337万冊
雑誌		「デジタル化資料(雑誌)」95万冊				全 112万冊
博士論文					26万	14万冊
インターネット公開は約41万冊						

国立国会図書館デジタル化資料
<http://dl.ndl.go.jp>
古典籍資料、図書、雑誌、官報など
(著作権処理未了・当館内限定公開資料を含む)



今後の課題

- 国立国会図書館館内限定公開資料の利用の拡大
- 現在、画像として公開しているデジタル化資料のテキストデータ化
- より高度なサービスの可能性

2012年著作権法改正(2013年施行)

- 絶版等資料の公共図書館への公衆送信に関する権利制限を追加
- 全国の公立図書館、大学図書館で国立国会図書館内限定公開資料(のうち絶版のもの)を利用可能にする
- 送信するデジタル化資料にはDRM(Digital Rights Management)を施し、不正コピーを防止するなど、著作権者・出版者にも配慮する。

国立国会図書館の取り組みについての報告は以上です。

おまけ

博士論文



- 大学との協議により、2000年度以前の博士論文のデジタル化を国会図書館が担当
- 1991年～2000年度に学位授与機関から国会図書館へ送付された博士論文をデジタル化
- 先生の論文も!
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/3066006>



歴史的音源

- 歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)が、1900年初め～1950年頃のSPレコード、金属原盤等に収録された音源をデジタル化。

HiRAC…日本レコード協会、日本放送協会(NHK)、日本音楽著作権協会(JASRAC)、日本伝統文化振興財団、日本芸能実演家団体協議会(芸団協)の5団体で構成

